

トビウオ通信 (10月号)

<http://www2.pref.shimane.jp/suisi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成 13 年度下半期浮魚中長期漁海況予報》

平成 13 年度後期 (H13 年 10 月 ~ H14 年 3 月) の中長期的な漁況の予測をします。

マアジ減少傾向にあるものの当歳魚加入量増加！

島根県～青森県におけるマアジ漁獲量(図1)は、昭和61年以降増加傾向にありましたが、平成10年をピークにその後減少傾向にあります。平成13年1月～8月までの漁獲量(39,492トン)は、前年同期(42,808トン)をやや下回っています(前年比92%)。漁獲物

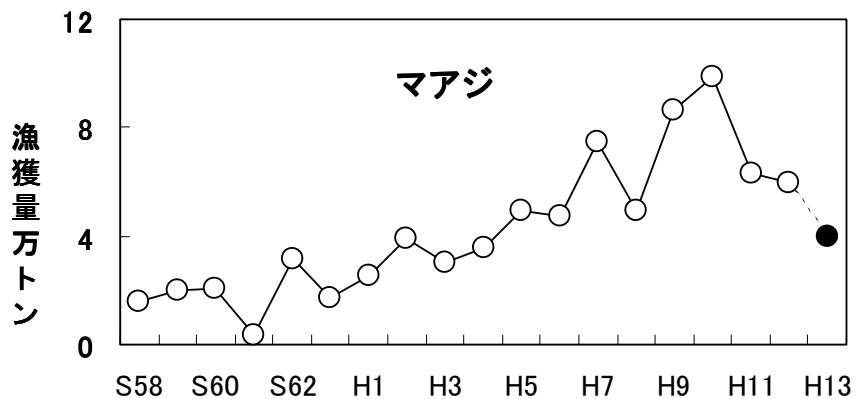


図1 島根～青森までのマアジ漁獲量の変動
H13は8月までの集計

の銘柄は、0歳魚1歳魚で、相変わらず小型魚が漁獲の主体となっています。また、九州沿岸域における今年の春～秋にかけての漁獲量は、海域によって差はあるものの概ね前年を上回っています。

今後の島根県沖のマアジ漁獲量ですが、調査船による試験操業、計量魚探による分布量調査などの結果から、東シナ海～日本海西部での当歳魚の加入状況が比較的良好であると判断され、秋以降の漁は不漁だった前年を上回るものと考えています。

マサバ今後の漁に期待！？

島根県～青森県におけるマサバ漁獲量(図2)は、平成8年以降減少傾向にあります。平成13年1月～8月までの漁獲量(10,085トン)は、前年同期(20,406トン)の49%と、不漁であった前年をさらに下回りました。

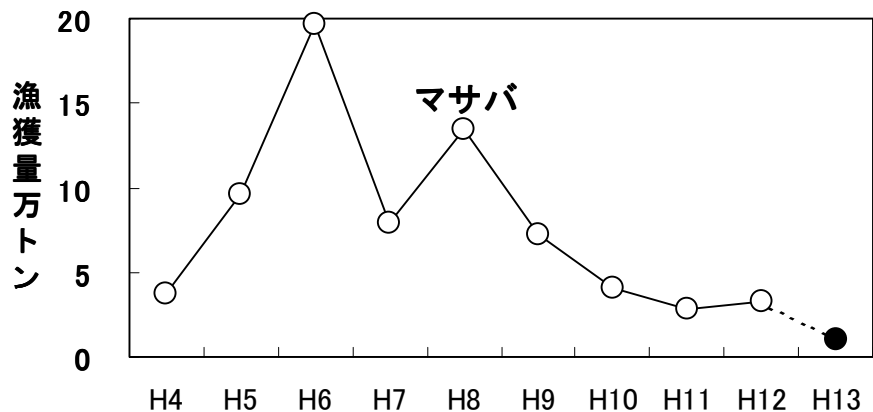


図2 島根～青森までのマサバ漁獲量の変動
H13は8月までの集計

しかし、平成13年9月以降の漁獲状況を見ると、当歳魚中心にまき網、定置

網などで好漁が確認されており、秋以降の漁しだいでは前年を上回る可能性もあります。

マイワシ依然低迷！

島根県～青森県までのマイワシ漁獲量(図3)は、平成5年以降減少傾向で、平成13年8月の漁獲量(1,008トン)は前年(3,537トン)を大きく下回っています。太平洋海域(房総沖)では夏期を中心に比較的活発な漁もみられますが、日本海では、ほとんど獲れない状態が続いています。秋以降の漁模様ですが、資源量が極めて低水準にあるため、引き続き低調に推移すると思われる。

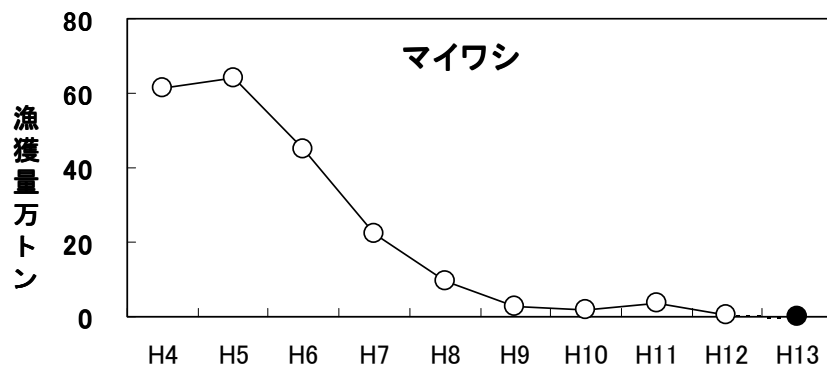


図3 島根～青森までのマイワシ漁獲量の変動
H13は8月までの集計

カタクチイワシ低水準から復活か？！

島根県から青森県までのカタクチイワシの漁獲量(図4)は近年増加傾向にあります。平成13年8月までの漁獲量(1,482トン)は前年(35,610トン)を大きく下回っています。これは2～3月の漁獲がほとんど無かったため、島根県だけでなく全国的に同じような状況でした。しかし、9月以降島根県西部海域から山口県沖にかけて0、1歳魚を中心に活発な漁場が形成されていることから9月以降来年にかけて、不漁だった前年を大きく上回る可能性が高いと考えています。

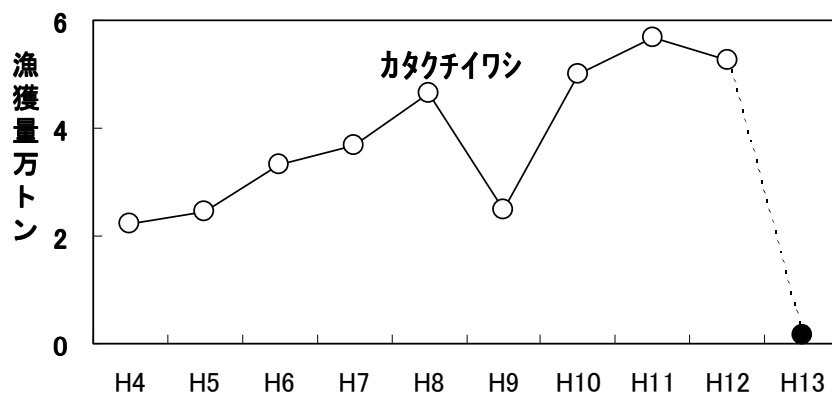


図4 島根～青森までのカタクチイワシ漁獲量の変動
H13は8月までの集計

ウルメイワシ増加の兆し！

島根県から青森県のウルメイワシの漁獲量(図5)は近年低水準にあります。平成13年8月までの集計では、1,212トンの漁獲量で、前年同期(1,122トン)の108%とやや上回りました。今年は10月になって島根県西部海域から山口県沖にかけて活発な漁があることから、今後は前年を上回る漁が期待されます。

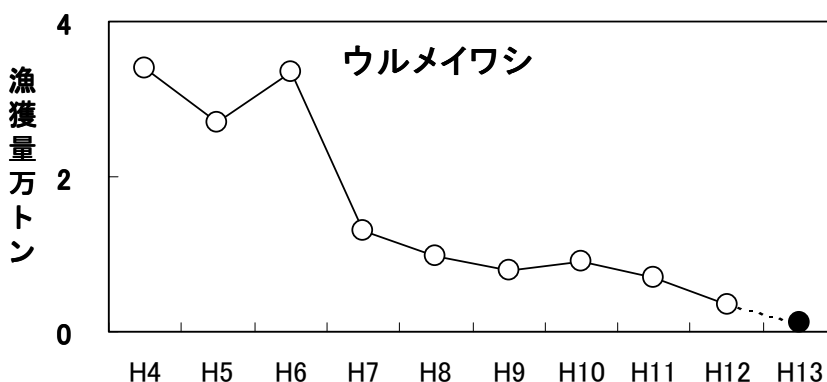
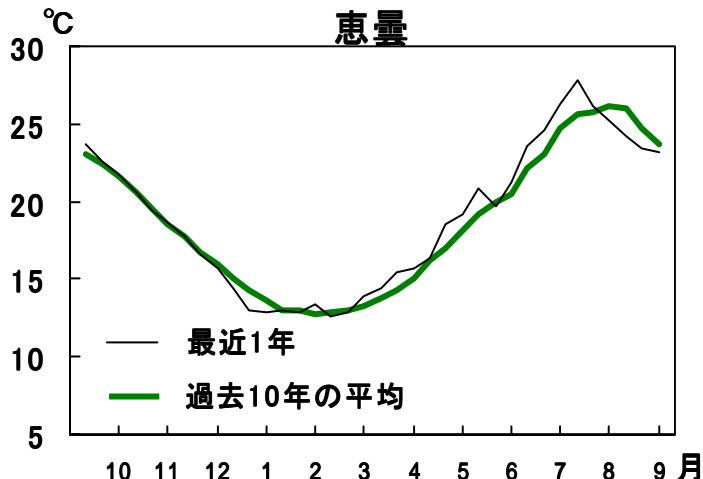
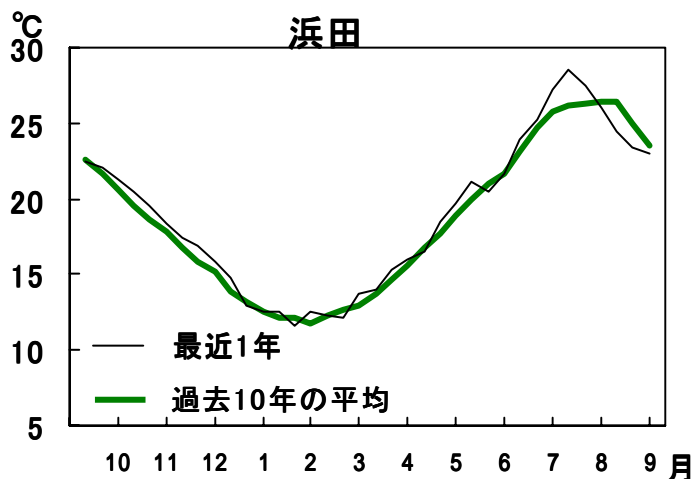


図5 島根～青森までのウルメイワシ漁獲量の変動
H13は8月までの集計

《 9月の海況 》

9月	月平均	平年差	評価
浜田	23.6	-1.3	かなり低め
恵曇	23.6	-1.3	かなり低め

9月の月平均水温は8月に比べ浜田で3.7、恵曇では2.8 下降しました。浜田、恵曇とも「かなり低め」の水温経過となりました。



島根・山口・鳥取の各県水産試験場が行った海洋観測結果（10月上旬）によると、表層の水温は沿岸から沖合いにかけての広い範囲で21～24 となっています。

中層および底層（50m および 100m）では、隠岐諸島の北北西約60 マイルに勢力の強い冷水域がみられます。この冷水域は9月にも確認されていますが、この時と比べるとやや北に位置を移しています。また、浜田の北西約60 マイルにも冷水域がみられます。これら冷水域の周辺の中・底層では等温線に沿った強い流れが観測されています。

山陰沿岸海域の水温は、表層では島根県東部～鳥取県西部の沖合い域で「やや高め」のほかは「平年並み」。中層では冷水域とその周辺で「甚だ低め～やや低め」、島根県沿岸域で「やや低め」、それ以外は「平年並み～やや高め」。底層では隠岐諸島の北北西60 マイルの冷水域付近で「かなり低め」となっている他は「平年並み～かなり高め」となっています。

《 9月の漁況 》

【中型まき網漁業】

浜田港の中型まき網の総漁獲量はマアジ、マサバ、カタクチイワシ主体に632 トン、水揚金額は6,691 万円でした。また、1 統当たりの漁獲量は158 トンで前年の120%、平年の61%と、前年をやや上回ったものの、平年を下回りました。水揚金額は1,672 万円（前年比：88%）とこちらも低調でした。恵曇ではマアジ、ウルメイワシ主体に総漁獲量174 トン、水揚金額は4,592 万円でした。1 統当たりの漁獲量は29 トン（前年比：78%）、水揚金額は765 万円（前年比150%）でした。浦郷ではウルメイワシ、マサバ、ブリ、マアジ主体に総漁獲量911 トン、水揚金額8,617 万円でした。1 統当たりの漁獲量は182 トン（前年比：134%）、水揚金額は1,723 万円（前年比：109%）でした。マアジ当歳魚の漁は沈静化し、マサバ、ウルメイワシ、カタクチイワシ漁が活発化してきています。

【イカ釣り漁業】

浜田港に水揚げするイカ釣り船（5 トン以上）によるイカ類の漁獲量は、ケンサキイカ・スルメイカを中心に134.7 トン（前年比：81%）と低調な水揚げとなりました。ケンサキイカは3 段～4 段の小型個体が主体でした。一方、西郷のイカ釣り船（5 トン以上）では、スルメイカ・ソデイカ・ケンサキイカを中心に50.5 トン（前年比：109%）の水揚げで、こちらは前年並みとなりました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港の沖底の漁獲量は330トン、水揚げ金額は1億8,037万円、1統当りの漁獲量は55.0トン/統（前年比：84%、平年比：104%）、水揚げ金額は3,006万円/統（前年比：110%、平年比：144%）でした。漁の主体はムシガレイ（前年比：188%）、アナゴ類（前年比：245%）となっています。

恵曇港の沖底の漁獲量は189トン、水揚げ金額は1億360万円、1統当り漁獲量は47.3トン/統（前年比：115%、平年比：105%）、水揚げ金額は2,590万円/統（前年比：114%、平年比：121%）でした。漁の主体はヤナギムシガレイ（前年比：207%）、ソウハチ（前年比：955%）、ムシガレイ（前年比：104%）となっています。

【小型底びき網漁業】

和江漁協ではキダイ、ムシガレイ、大田市漁協ではニギス、ムシガレイ主体の漁となっています。1航海当たり漁獲量・水揚げ金額は両漁協とも前年を4～9%下回っています。和江漁協ではキダイ、メイタガレイ、アンコウ、ムシガレイが、大田市漁協ではキダイ、アンコウ、スルメイカ、ムシガレイが前年の1.7～1.3倍の水揚げがありました。また前年同期、小型魚が好漁であったアカムツは前年の2～3割程度の水揚げしかなく、低調に推移しています。

【定置網漁業】

隠岐地区ではブリ、マアジ主体に、前年の76%の漁獲量となりました。県東部では、ブリ、シイラ、マサバ、マアジ、サワラ主体に前年並みの漁獲がありました。県西部ではマアジ、マサバ、ブリ、サワラ主体に前年の66%の漁獲量でした。県全体では前年の8割程度の量となり、ブリ、マアジ、マサバ、ソウダガツオ、サワラ、マダイ、チダイ、ソデイカなどが好調な魚種となっています。特にマサバ（豆サバ）は急激な伸びを見せており、今後の動向が注目されます。ケンサキイカは前月に引き続き低調に推移しています。

【釣・縄】

沿岸の釣・縄は前月に引き続き平年を下回るやや低調な漁模様となりました。また、対象魚種が異なり海域間差が大きくなっているようです。県西部ではケンサキイカ、ヒラマサ、アマダイを主体に量・金額とも平年並みとなっています。東部ではケンサキイカ、サワラ、スルメイカを主体に量は平年を下回ったものの、金額は平年をやや上回っています。隠岐はソデイカ、カサゴ・メバル類、キダイ、メダイが中心となっていますが、量・金額とも平年を下回りました。

漁獲統計

平成13年 9月1日～30日

漁業種類	水揚港	延隻数・統数	主要魚種	1隻(統)1航海当漁獲量	総漁獲量
中型まき網	浜田	86	マアジ・マサバ・カタクチイワシ	7.3ト	632ト
	恵曇	93	マアジ・ウルメイワシ	1.9ト	174ト
	浦郷	90	ウルメイワシ・マサバ・ブリ・マアジ	10.1ト	911ト
イカ釣り (5トン以上)	浜田	612	ケンサキイカ・スルメイカ	220Kg	134.7ト
	西郷	286	スルメイカ・ソデイカ・ケンサキイカ	177Kg	50.5ト
沖合底びき網	浜田	30	ムシガレイ・アナゴ類	11.0ト	330ト
	恵曇	32	ヤナギムシガレイ・ソウハチ・ムシガレイ	5.9ト	189ト
小型底びき網	和江	440	キダイ・ムシガレイ	697Kg	307ト
	大田市	329	ニギス・ムシガレイ	612Kg	201ト
定置網	浜田	75	マアジ・サワラ・マサバ	1,236kg	92.7ト
	恵曇	72	マアジ・マサバ・ソウダガツオ	462kg	33.3ト
	浦郷	34	ブリ・マアジ・ソウダガツオ	545kg	18.5ト
釣・縄	浜田	378	ケンサキイカ・アマダイ・マアジ・ヒラマサ	43.7kg	16.5ト
	五十猛	144	ケンサキイカ・ヒラマサ・アマダイ	52.1kg	7.5ト

1隻(統)1航海当漁獲量は総漁獲量 / 延隻数・統数で算出しており四捨五入した値です。